

質問書回答33

件名) 長野自動車道 一本松トンネル(上り線)北補強工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・別添1 技術提案における施工条件書 6/9 ・特記仕様書P34~35 26-3_トンネルインバート補強工 26-3-5_材料及び施工等 【5】土留工 ・設計図2(全体概要・インバート補強工) 19/124~22/124 	<p>『技術提案における施工条件書 4-1-1』において、「鋼製部材をインバートに使用する場合、鋼製部材の地中への存置は可能である。ただし、鋼製部材が構造部材の場合は、重防食塗装を施工する、腐食による減厚を見込んだ板厚にする等、必要な防食性能を確保すること。」とあります。</p> <p>標準案の土留工で用いる親杭H鋼は躯体・土中に残置となりますが、非構造部材のため防食性能の確保は不要ということによろしいでしょうか。また、土留として杭に代わる構造を提案する場合、それらについても非構造部材であれば、防食性能の確保は不要ということによろしいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>そのとおりお考えください。</p>